

平成 28 年 6 月 28 日

病理専門医研修について：

一般の皆様，ならびに病理医を志す若手医師の皆さんへ

日本病理学会は，国民のためのよりよい病理診断を提供するため，病理専門医の育成に力を入れてきました．現在，病理専門医は約 2300 名ですが，適切な医療のためには少なくとも 3000 名が必要であると試算されています．このため，日本病理学会では，これまで日本専門医機構と協力し，日本全国各地域で病理専門医を養成するプログラムを作成してきました．

現在，新専門医制度の実施に関して改めて議論されようとしています，病理専門医不足を解消していくためには，早急に来年度からの病理専門医プログラムを提示し，病理専門医を目指す若手医師を支援していくことが重要であると考えました．

そこで日本病理学会では，学会主導で「病理専門医プログラム」を公開し，来年度の専門医研修を始めたいと考えました．現在，各地域で特色のあるプログラムが作成されていますが，日本専門医機構の一次審査で承認された後，その状態で止まった状態にあります．

平成 29 年度の実施に際しては，プログラムでの定員枠は弾力的に運用し，プログラム間での相互支援を図り，学会が専門医研修を最大限応援いたします．また指導医，専攻医の地域偏在に対する対策を講じ，日本専門医機構新執行部と十分に協議し，協力していく予定です．

以上のようなバックアップ体制のもと，病理医を志す若手医師の皆さんは移行期の不安定さを何ら心配することなく，研修プログラムにご参加ください．また，一般の皆様には，病理専門医研修ならびに病理専門医へのご理解，ご支援をお願い申し上げます．

一般社団法人 日本病理学会
理事長 深山 正久